



The service club to the YMCA  
THE Y'S MEN'S CLUB OF SANDA

Chartered Oct. 31, 1993

さんだワイズメンズクラブ

〒669-1512

三田市高次 2-11-16

安行英文

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT" No.29-5 November 2021

会長主題:『意識を喚起し、進んで行動を』 「Create Awareness Take Action」

国際主題:『世界とともにワイズメン』

“Y's Men with the World”

『愛と尊厳で世界を癒そう』

アジア主題『100年を越えて変革しよう』

“Make a difference beyond the 100th”

西日本区主題:『羽ばたこう』

六甲部主題: 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』

Snuggle up and share with you

～”Smile on each side”～

会 長	: 安行 英文
副 会 長	: 竹内 一夫
書 記	: 松本 美耶子
会 計	: 安行 暁子
会計監査	: 竹内 路子
担当主事	: 齊藤 靖
ブリテン	: 松本 文男

### 11月の例会

◆11月例会 11月10日(水) 19:00

協 議

- ① 黒枝豆ファンドとオータムコンサートを振り返って
- ② 今後の行事について
- ③ その他

報 告

会長 YMCA その他

### 今後の予定

- ◆11月3日(水・祝)オータムコンサート
- ◆11月第1例会 11月10日(水)19:00
- ◆ 第2例会 11月24日(水)19:00

### 今月の聖句

「わたしの恵みはあなたに十分である。」

コリントの信徒への手紙II 12章9節

11月のデータ(在籍者 8名)  
 出席 メン7名 出席率 87.5%  
 10月 0円  
 ニコニコファンド 累計 5,000円

## 2021年10月第1例会報告

日 時:2021年10月12日(火)  
黒枝豆収穫の現地下見の後  
14:30~15:30

会 場:安行邸

出席者:安行英文・暁子、竹内一夫・路子  
松本文男・美耶子

丹波篠山市福住に13時過ぎに集合し、数株抜いた後帰路に着き開催。

### 〈協議事項〉

- ・枝豆収穫予定日と、袋・シールなどの準備物・作業の確認。
- ・オータムコンサートのプログラム案の提示。

## 2021年10月第2例会報告

日 時:10月29日(金)  
19:10~20:40

会 場:安行邸

出席者:安行英文・暁子、竹内一夫・路子  
松本文男・美耶子、齊藤 靖

黒枝豆の販売結果について報告の後、11月3日(水・祝)のオータムコンサートについて協議。チケット状況の確認と当日役割の分担、プログラム案の検討を行った。フラワー市民センターへは10月30日(土)に、支払いと楽屋や会場消毒について確認。

### ♪当日スケジュール

- 10:00 ピアノ調律師来場
- 10:30 メンバー集合
- 10:30~11:00 出演者来場
- 調律の合間にエレクトーンなど機器を設置
- 調律後リハーサル
- 13:30 開場
- 14:00 開演
- 16:00 終演予定
- 16:30:会場完全撤去

### 〈報告事項〉黒枝豆ファンド事業以外

- ・10/18 地域環境事業委員会 Zoom

・ワイズメンズクラブ創立100周年記念事業の植樹について

10/25(月)植樹委員会 Zoom

今年2本、来年度に1本、場所と樹種決定

YMCAより

11/23(火・祝)チャリテイランに替り

ウオークをハイブリッドで開催

## 〈丹波黒豆枝豆ファンド〉

昨年に引き続き、今年度も丹波黒豆枝豆ファンドに取り組みました。

10月5日の黒豆解禁日を待って、10月16日から約2週間の作業、16日には神戸YMCAの留学生3人がお手伝いに来てくれました。今年は夏の天候不順の影響で、昨年比ベ鞘の付きが悪く、また無農薬栽培のために虫にもたくさんやられていたため、株数は多く刈り取らなければならないし、その後の鞘取り・選別作業も大変でした。

自然相手のファンドは予測通りにはいかないものだと、改めて実感しました。

今年も多くの注文を頂きありがとうございました。特に遠方の方は初めて黒豆枝豆を召し上がって、その美味しさに感動したと言っていた頂き、頑張った甲斐がありました。

皆さん、お疲れさまでした。 安行暁子



10月12日(火)下見

## 留学生と助っ人に感謝!!



10月16日(土)  
3人の留学生もお手伝い



10月21日(木)  
2人の助っ人とともに

### 今月の聖句 「私の恵みはあなたに十分である」

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章9節)

今月の聖句は、使徒パウロが、自分がかつて体験したことを踏まえて教会の人々に語った言葉の一部です。かつての体験とは、生きていながら天国に上げられて神と直接対面し、様々な素晴らしい事柄を示されて帰ってきたということでした。それは人に誇れるような神秘的な体験です。ところがそのあとで、その誇りを打ち砕かれるような試練に遭ったとパウロはいいます。それは自分を襲った突然の病気でした。聖書を読む限りその具体的な症状はわかりませんが、パウロの生活や働きに支障をきたしてしまうような何らかの病気だったと思われます。当然パウロは、その苦しみを取り除かれるように神に何度も祈り求めます。それでもその病が治ることはありませんでした。しかしそこで、祈りに対する神からの答えがあったといいます。それが今月の聖句です。ここは前後の節と合わせると次のようになります。

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

パウロにはそれまで、神のために働く自分にはなんだってできるし、まだまだこれから、あれもしたいしこれもしたい、そんな思いが強くありました。その只中で、したくてもできない状態に陥ってしまったのです。しかしそのことによって気づかされます。自分も所詮は弱く脆いものでしかないのだということ、そしてその自分の弱さの中にこそ、神の恵みと力が働くのだということ、そのことをこそ、私は誇る事ができるのだということに。祈った結果、病が治って、以前よりももっとうまく働けるようになった、自分の思う通りに事が進んだというわけではありません。むしろそこで起こったことは、パウロが自らの肉体の弱さを通して、逆に神の素晴らしさを、より深く感じるようになったということだったのです。

私たちもいろいろな夢や希望を持って生きています。あれもこれもと思っても、実際にはできずに、ただ自分の弱さに打ちのめされてしまうこともあります。しかしうまくいかないときや自分の弱さ、欠乏を思うときにこそ、そんな私を根底から支えておられる神の存在に気づかされるのではないのでしょうか。わたしの恵みはあなたに十分注がれているという神の言葉に励まされて、毎日生きていくことができるのです。

摂津三田教会 牧師 西脇 正之